第 20 回 中野総合学科新校再編実施計画懇話会

日時　令和８年 10 月 13 日
17 時 30 分～19 時
会場　中野立志館高等学校
大講義室

＜次 第＞

１ 開　会

２ 挨　拶

３ 新構成員自己紹介

４　会議事項
（１）「第 19 回中野総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ（案)」について
（２）校名選考について
（３）新校に向けた準備について

５ その他

６ 閉　会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

（目的）

第１　県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」（以下、「懇話会」という。）を開催する。

　なお、懇話会は、地方自治法第 138 条の４第３項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

（会議事項）

第２　懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

（１）学校像、教育方針等に関すること

（２）校地・施設・設備等に関すること

（３）管理運営等に関すること

（４）教育内容等に関すること

（５）その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

（構成員）

第３　懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者（校長、教職員等）、地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）、同窓会、ＰＴＡ、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

２　会議に座長を置く。

（開催期間）

第４　会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和２年 10 月 26 日から施行する。

令和８年度　第20回中野総合学科新校 再編実施計画懇話会 構成員名簿（敬称略）

	区分	氏名（〇：座長）	所属等	新構成員
1	自治体	竹内　敏昭	中野市　副市長	
2		○ 柴本　豊	中野市教育委員会　教育長	
3		竹内　延彦	山ノ内町教育委員会　教育長	
4	産業界	髙木　一成	信州中野商工会議所　議員	
5		中島　弘子	山ノ内町商工会　女性部部長	
6	同窓会	斉藤　武美	中野立志館高等学校同窓会　副会長	
7		綱嶋　健二	中野西高等学校同窓会　会長	
8	ＰＴＡ	金井　哲也	中野立志館高等学校ＰＴＡ　会長	○
9		有賀　陽一	中野西高等学校ＰＴＡ　会長	
10		小橋　茂樹	中高ＰＴＡ連合会（中学校代表）	
11		児玉　隼人	中高ＰＴＡ連合会（小学校代表）	
12		土屋　亜衣	小布施中学校ＰＴＡ　副会長	
13	学校関係者	山﨑　巖	中野立志館高等学校　校長	
14		阿部　佳代子	中野立志館高等学校　教諭	
15		山田　純子	中野西高等学校　校長	
16		齊藤　元希	中野西高等学校　教諭	
17		塩﨑　陽子	中高飯水校長会　会長（中野小学校）	
18		小山　正博	中高飯水校長会　副会長（木島平中学校）	
19		齊藤　正一	上高井郡校長会　（小布施中学校）	
20	学識経験者	大日方　悦夫	元県立高等学校長	
21	地域	三森　和子	北信地域振興局　局長	
22		小坂　直矢	山ノ内町教育委員会　委員	
23	生徒	合津　悠翔	中野立志館高等学校生徒会　会長	
24		佐藤　結羅	中野立志館高等学校生徒会　副会長	
25		笠原　れい	中野立志館高等学校生徒会　副会長	
26		土屋　瑠生	中野西高等学校生徒会　会長	
27		青木　颯星	中野西高等学校生徒会　副会長	
28		滝澤　陸斗	中野西高等学校生徒会　副会長	

事務局

中野立志館高等学校	
西村　哲応	全日制教頭
柏村　将生	定時制教頭
阿部　佳代子	
小林　ちひろ	
清水　潔	
伊藤　洋道	

中野西高等学校	
小野　陽子	教頭
宮尾　久枝	
佐々木　優也	
村田　淳	
齊藤　元希	

高校再編推進室	
田中　聡	主幹指導主事
楯　和弘	主任指導主事
荻原　洋平	主任指導主事
穂苅　真衣	主事
学びの改革支援課	
小木曽　一希	指導主事

第 19 回 中野総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日　時	令和８年(2026 年) 4 月 28 日(火)17 時 30 分～19 時 00 分		
場　所	中野市中央公民館　301 講堂		
出　席 (敬称略)	竹内敏昭、柴本豊、竹内延彦、綱嶋健二、中山雅登、小橋繁樹、児玉隼人、土屋亜衣 山﨑巌、阿部佳代子、山田純子、齊藤元希、塩﨑陽子、小山正博、齊藤正一、三森和子 小坂直矢、合津悠翔、佐藤結羅、笠原れい、土屋瑠生、青木颯星、滝澤陸斗（以上 23 名）		
欠　席 (敬称略)	髙木一成、中島弘子、斉藤武美 有賀陽一、大日方悦夫（以上５名）	傍聴者	３名
事務局	中野立志館高校	西村全日制教頭、柗村定時制教頭、阿部教諭、小林教諭、清水教諭 伊藤教諭	
	中野西高校	小野教頭、宮尾教諭、佐々木教諭、村田教諭、齊藤教諭	
	県教育委員会	田中主幹指導主事、楯主任指導主事、荻原主任指導主事、貝野主事	
当日資料	第 19 回中野総合学科新校再編実施計画懇話会 会議資料 中野総合学科新校施設整備基本設計報告 説明資料		

会議事項

（１）「第 18 回中野総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ」
（２）施設整備基本設計報告
（３）校名選考について
（４）その他

主な内容（要旨）　・質問等　▸構成員意見　⇒事務局回答　→設計チーム回答

（１）「第 18 回中野総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ」　質問・意見なし

（２）施設整備基本計画報告
○施設整備基本設計報告（事務局、設計チーム（ラーバン デザイン オフィス合同会社））
【基本設計の概要】
○総合学科の多様な学びに対応し、交流が生まれる校舎を目指す。
【主な特徴】
○「ラーニングパサージュ」を核とした横断的な学習・交流空間。
○ライブラリーを学校の中心に配置し、多様な学習スタイルに対応。
○地域に開かれた広場や地域連携スペース（通称「なかのカフェ」）の整備。
○バリアフリーへの配慮および災害対策を考慮した設計。
＜質疑・意見等＞
・とても校舎が広い感じがする。(高校生構成員)
・部室はどうなるか。(高校生構成員)
→既存の小体育館の下ピロティからライブラリーを通って「ラーニングパサージュ」へ出るなど、新校舎とのつながりも意識している。
・「ラーニングパサージュ」が暑くて教室移動等が大変にならないよう、空調設備を充実させて欲しい。既存の体育館にもエアコンがあると子どもたちも活動しやすい。
→体育館空調は今回の予定にない。新校舎の空調については重要であると認識している。
・昨今の自然災害に対する対策が組み込まれていたら、教えていただきたい。
→この場所で予想される自然災害は水害。傾斜に対して、建物１階床を周辺より高く設計し、浸水しないよう設計。

（３）校名選考について
【新校の校名公募の方法について】
○応募手段は、インターネット・郵送・持参の３つを提示。
【募集要項について】
○３種類（従来案、応募・選考に関する事項を優先する案、簡易案）の要項案を提示。
○応募者が校名応募に関する情報を得やすく、再編計画についても知ることができる第２案を基本に、「学校像」の項目を冒頭に示し、電子メールなどにより改めて構成員に示す。
＜質疑・意見等＞
・要項に新校をイメージできる「学びのイメージ」や校舎イメージ図などは載るか。

⇒要項に記載する「学びの特徴（別添資料１）」が「学びのイメージ」を指す。校舎イメージとしては、資料 18 頁の「校名募集チラシ」が該当する。
・イメージが重要。更にインパクトがあるものができるといい。新校は、中野立志館の校地に立地するという校地選定の経過がどこかで分かるといい。
⇒学校の「所在地」については４項目目に記載している。イメージ図等は大切。どんなものでお示しできるか検討したい。
・第３案は、４項目目の「学校像」に関する記載がない。他と同様に入れて欲しい。
⇒第３案で決定する場合、「学校像」に関する記載の有無や記載の順序についても検討したい。
・第３案は、「学びの特徴（別添資料１）」に関する記載もない。この場で案を決めるのではなく、意見を持ち帰るということか。
⇒事務局としては、７月の応募に向けて準備を進めたい。「所在地」や「学びの特徴」については、３つの案すべてに入るべき。３つの案のうちどの案という方向性を確認し、必要に応じて修正したい。
・事務局では、どの案にしたいという考えがあれば示していただきたい。
⇒事務局では、校名選考に関わる情報が冒頭にあり、再編計画や構成員の皆さんによる懇話会での議論の様子もお知らせできる第２案を推したい。
・高校生やＰＴＡの皆さんのご意見はいかがか。
▸ 応募する立場としては、第３案。
▸ 経緯等も知りたいので、第２案。
▸ 第２案。校名募集情報が始めにあり、その後経緯等が記載されている方が全体像を理解できる。
▸ 簡潔な第３案。
▸ 新校について、あまり知らない人にとっては第２案。

【応募に関する注意事項について】
○応募に関する注意事項：現在の校名「中野立志館」「中野西」および前身校名「中野」「中野実業」を選考対象外とする項目を追加提案。
○「中野」案を望む声もあり、『基本的には（原則）』といった表現を加え、要項を後日電子メールで構成員に送付し最終確認する。

＜質疑・意見等＞
・前回懇話会において、シンプルな「中野」がいいという話があった。
⇒中野市にある学校という意味でのご意見と伺っている。今回示した「中野」は、過去に実在した学校名という観点から対象外とする旨の提案をする。解釈や思いはそれぞれあるが、結論としては対象外になる。
・例えばアルファベットやひらがな、カタカナで「中野」と書いたものも駄目か。
⇒様々な表現方法はあるが、対象外とするという提案である。
・文頭に『基本的には（原則）』という文言をつけ、柔らかい表現にして欲しい。
⇒いただいたご意見をもとに、「募集要項」修正案と併せて構成員の皆さんに再度お示ししたい。
・「中野○○」高校ならよいか。
⇒そういった案を想定している。新しい学校を想像できる名称を募集したい。
・中野に高校が一つになってしまうという他地区と異なる事情がある。事務局提案の根拠は何か。
⇒これまでの再編においても、過去の校名は採用していないことにある。

【新校の校名公募の方法について】
○一次選考：校名案を事務局で整理し、構成員による投票を行う。その結果を受け懇話会にて意見交換する。
○二次選考：構成員による２度目の投票および市内中学生、両校生徒・教員の意見聴取も参考に懇話会で意見交換し、最終校名候補とする。
○校名決定は、県教育委員会および県議会による。

その他

【次回懇話会】
・期日：令和８年９月（予定）
日時、内容等の調整が済み次第、開催通知にてお知らせする。

中野総合学科新校　校名決定の流れ（案）

長野県教育委員会

先進校の校名選考方法等の情報提供

新校事務局・WG

選考の観点、選考方法の検討・原案作成

懇話会⑰（R7.7.15）

選考の観点、選考方法について意見交換

選考の観点、選考方法の再検討

中野総合学科新校「校名」募集要項（案）の作成

懇話会⑱（R7.11.4）

中野総合学科新校校名募集要項（案）について意見交換

中野総合学科新校「校名」募集要項（案）の再検討

中野総合学科新校「校名」募集要項（案）の作成

懇話会⑲（R8.4.28）

中野総合学科新校「校名」募集要項の決定

R8　7月1日～7月31日

中野総合学科新校「校名」募集の公募開始

応募された校名案の整理

懇話会構成員による【一次】投票

投票された校名案の整理

懇話会⑳（R8.10.13）

公募結果の説明、校名案候補の一次選考

商標権調査及び有識者への相談

懇話会構成員による【二次】投票

投票された校名案の整理

懇話会㉑

校名案候補の決定（最終選考）

再編対象校の校長から県教育委員会へ具申

同名校、権利侵害等の調査

教育委員会定例会で校名案の決定

県議会定例会で正式決定

中野総合学科新校 校名応募概況および事前審査項目

1　応募概況

（1）応募総数	211	応募フォーム 205 案、持参３案、その他３案
（2）内容不備数	1	校名案理由等なし
（3）有効応募数	210	（1）-（2）
（4）事前審査対象外案数	23	「２事前審査」により除外
（5）事前審査後の校名案数	187	（3）-（4）
（6）一次投票対象数	133	（5）のうち重複案まとめ後の数

2　事前審査項目

1　県内高校・大学と同名

1-ア　県内高校・大学（一部重複含む・音読み重複含む）

1-イ　県内過去校名（一部重複含む）

1-ウ　全国通信制（県内から通学あり）

2　新校の学びに対する誤解を招きやすいもの

2-ア　学びの内容が正しく伝わらない　（例）総合技術 等

2-イ　事実と異なる　（例）男子校、市立等

3　選考の観点および注意事項に反する

3-ア　「校名とした理由」や応募者が定かでない

3-イ　単に両校を併せた表現

4　その他（校名として適さない）

一部抜粋

令和１２年４月に中野市に開校する
新しい高校の校名を募集します！

中野総合学科新校「校名」募集要項

1　目的

長野県中野市に令和 12 年（2030 年）４月に開校する中野総合学科新校（現在の中野立志館高等学校と中野西高等学校の統合校）について、長野県教育委員会が進める「新たな学校づくり」に多くの皆様の参画を求めることを目的に、新校の校名を募集します。

2　中野総合学科新校の学校像

①学校所在地	長野県中野市三好町２丁目１番 53 号（現在の中野立志館高等学校の校地）
②開 校 年 度	令和 12 年度（2030 年度）
③設 置 学 科	全日制課程　総合学科 / 定時制課程　普通科
④募集学級数	総合学科７～８学級程度 / 定時制１学級（開校前年度に正式決定します）
⑤学びの特徴	**＊別添資料１をご覧ください。**

3　校名選考の観点

校名候補を以下の観点で選びます。

① 校名は「長野県　～　高等学校」とする。
【次の②～④のうち、１つ以上が含まれていること（すべて含めてもよい）】
② 学校の所在地がわかりやすく、親しみがあり、生徒が誇りを持てる名称である。
③ 中野立志館高等学校と中野西高等学校のこれまでの歴史や伝統などがイメージされている。
④ 中野総合学科新校の学びのイメージを踏まえた、相応しい校名である。

4　校名選考の方法

校名選考は４つのステップを経て進めていきます。

① 公募

多くの皆様から広く校名を募集します。どなたでもご応募できます。特にこれから中野総合学科新校で学ぶ皆様（小学生や中学生）、その保護者の皆様からのご応募をお待ちしています。（詳細については「**６　応募の方法**」をご覧ください）

② 一次選考

応募された校名ついて、事務局で同名の名称の有無、商標権の確認等の校名案の整理を行い、その後、懇話会の構成員による投票で、公募の中から校名候補を 5～７案程度（候補①）にしぼります。さらに懇話会での意見交換をふまえ、６案程度（候補②）とします。

③　**二次選考**

候補②に対して商標権等の調査をおこないます。その結果を踏まえて「懇話会構成員」による二次投票および「市内中学生」「両校生徒・教職員」からの意見聴収をおこない、２～３案程度、校名候補（候補③）を選びます。さらに懇話会での意見交換で最終校名候補を選考します。

④　**校名の決定**

懇話会での検討を踏まえ、県教育委員会で決定します。

（注）あくまでも校名案の募集であり、最も多く投票があった校名が選ばれるものではありません。

5　募集期間

令和８年７月１日（水）から令和８年７月 31 日（金）まで（郵送の場合は締切り当日の消印有効とします）

6　応募の方法

以下の２つの方法で応募できます。

○**インターネットを利用した応募・・・**応募フォームから必要事項を入力してください。

○**郵送または持参・・・**募集要項の最終ページにある所定の応募用紙を使用してください。

必要事項は以下のとおりです。 必要事項を満たさない応募は選定の対象外としますのでご注意ください。

① 校名案（必ずふりがなを記入してください）
② その校名とした理由
③ 住所（都道府県・市町村）、電話番号、氏名（＊匿名は不可です。ご注意ください。）
団体で応募される場合は、団体名と代表者氏名を記入してください

応募先は以下のとおりです。

スマホなどからの応募はこちら

【応募フォーム】 https://forms.gle/BdfQxvmWwSLWoZum8

【郵送先】 **〒383-8567　長野県中野市三好町２丁目１番 53 号**
中野立志館高等学校　中野総合学科新校 校名募集担当 あて

持参する場合は、中野立志館高等学校または中野西高等学校の事務室に届けてください。

応募に際して以下の点にご注意ください。

・応募者本人が考えたものであり、他者の権利を侵害しないものとします。
・１回の応募につき記入出来るのは１つの校名案とします。
・応募にかかる費用は応募者の負担とし、応募用紙の返却はおこないません。
・応募に際していただいた個人情報は校名選考以外には使用しません。
・決定された名称に関する一切の権利は長野県教育委員会に帰属するものとします。
・原則、現在の校名（中野立志館、中野西）および中野立志館の前身校名（中野、中野実業）は選考の対象外とします。

■ 中野総合学科新校 校名一次投票対象案一覧（50音順）

整理番号	校名案	校名案の読み仮名	校名案の理由	投票対象
1	学際中野	がくさいなかの	様々な学びの分野が設定されており、学問横断的に探究を深め、さらにESDに取り組む学校として発展して欲しいと期待するため	○
2	岳南	がくなん	この地域を岳南地域と呼ぶことがあり、北信五岳も美しく見える校地であることから、地域の方に愛される学校名になりそう。/高社山の南に位置する地域を表す名称であり、古くから地域に根ざした呼び名です。地域の歴史や文化を大切にし、地元の人々に親しまれる校名だと思います。	○
3	北信濃総合	きたしなのそうごう	北信濃，総合学科 を組み合わせる事で信州の爽やかな空気の中で子供達が希望を持って，学びの範囲を広げていけそうと思いつけました。(信州のイメージも感じられる)	○
4	北信	きたしん	北信濃だと長いので、北信の部分だけにしました。ほくしんとも読みますが、あえて「きたしん」と読ませました。	○
5	北信州	きたしんしゅう	シンプルで分かりやすい校名	○
6	北信州中野	きたしんしゅうなかの	地域に根付くに当たり、名前から場所が思い描けることが良いと思うから。	○
7	五岳館	ごがくかん	北信五岳の眺めに沿って山に囲まれて育つ為に	○
8	彩栄	さいえい	彩→多彩な才能を持った人材溢れる場所。栄→生徒達の夢や地域の方々、中野市が活気溢れて栄えていける場所。	○
9	彩志	さいし	いろんな考えや思想、そして多様性の時代の背景から。彩りがある志を持った生徒たちが学び、巣立っていくそんな学校を目指す。	○
10	サンライズ中野	さんらいずなかの	どこに日の照る街がある　という中野小唄の一節があると思い。日の出になる高校名を考えました。『中野日照』も考えましたが、あえて横文字を入れてインパクトを出してみました。	○
11	志賀峰	しがみね	高校名を「志賀峰高校」にした理由は 長野県を代表する自然豊かな志賀高原をイメージしたからです 「峰」という漢字には山の頂上という意味があり 志賀高原の雄大な山々や美しい景色を表現しました 自然に囲まれた長野県らしさが伝わる 力強く親しみやすい名前だと思い この高校名にしました。	○
12	志高	しこう	志し高くの略	○
13	信濃中野	しなのなかの	市内で唯一の高校になるので	○
14	信濃遊学館	しなのゆうがくかん	長野県人が楽しく学べる誇りに残せる学びの宿に成って欲しいから。	○
15	翔輝	しょうき	未来に向かって羽ばたき、一人一人が輝く人になって欲しい	○
16	中野翔立	しょうりつ	力強さと自由と可能性を感じられ、これからの時代に合っていると思ったから	○
17	信州中野義塾	しんしゅうなかなのぎじゅく	地元を現す信州中野、学力の高さを現す義塾を盛り込んだ	○
18	進鷲中野	しんしゅうなかの	地名と鷲のように雄々しく羽ばたいて進んでほしいという願いから	○
19	信州中野	しんしゅうなかの	「長野県信州中野高等学校」は、中野を出発点に信州全体、さらには世界へと学びを広げる新しい総合学科高校への願いを込めた校名です。「信州」を冠することで、中野市の魅力や文化、自然を大切に受け継ぐとともに、多様な人との出会いや協働を通して新たな価値を創造し、自ら未来を切り拓く生徒が育つ学校像を表しています。また学校だけでなく、まち全体を学びのフィールドとし、人と人、学校と社会がつながり、その学びが未来へ広がっていく姿にこの校名への思いを重ねています。「信州中野」は最寄り駅の名称としても長年親しまれ、地域に広く浸透している呼称です。中野への誇りと信州ブランドの発信力を併せ持ち、生徒や卒業生、地域の人々に長く愛され、未来へ向かって発展し続ける学校の象徴となることを願い提案いたします。/最寄りの駅名としても親しまれてきた呼び方なので違和感がなく、県外でもどこの学校かすぐわかります。二つの高校のどちらの色にも染まらず、みんなで新しく育てていける名前だと思います。等	○
20	信州なかの	しんしゅうなかの	地域名が分かりやすく、「信州」のブランド力と「なかの」の親しみやすさを合わせた、地域に誇りを持てる校名だと考えたため。「信州」という名称を入れることで長野県らしさを表現し、「なかの」により地域とのつながりを大切にする学校であることが伝わります。県内外の人にも場所が分かりやすく、地域に親しまれ、卒業生が誇りを持てる学校名になると考えました。シンプルで覚えやすく、地域に愛される校名として「信州なかの高等学校」がふさわしいと考えます。/中野市に唯一の学校であり、他と区別するため信州を入れ、皆に親しまれるようにひらがな表記とした。等	○
21	信州中野総合	しんしゅうなかのそうごう	「信州中野」で所在地が明確。「総合」で学校の特色が伝わる。中学生や保護者が一目で理解できる。/シンプルでわかりやすいから	○
22	信州中野総合学園	しんしゅうなかのそうごうがくえん	郷土に根ざしたかけがえない地名を残したいのと、何を学ぶ学校なのかを明確にすること	○

整理番号	校名案	校名案の読み仮名	校名案の理由	投票対象
23	信州中野ふるさと総合	しんしゅうなかのふるさとそうごう	信州を冠にすることによりインバウンドの人たちや世界に対して「あの大自然に囲まれた、美しい信州の学校なんだ」というブランドが一瞬で伝わります。中野市から世界へ発信する学校にふさわしい、誇り高い響きで故郷（ふるさと）を理解し、故郷を愛するということ。中野市が生んだ偉人・高野辰之の唱歌『故郷（ふるさと）』の精神をこれ以上ないストレートな形で受け継いでおり、他校には絶対に真似できない唯一無二のストーリーが生まれます。自然や歴史だけでなく、自分が育った温かい場所、いつでも帰ってこられる場所という意味が含まれています。個性を尊重し、多様性を認め合う（友愛）というカリキュラムポリシーとも美しくリンクし、生徒たちが安心して失敗を恐れずチャレンジできる土壌を感じさせます。この校名なら、地元の伝統や自然を心から愛しながら（徳・体）、ユネスコスクールなどを通じてグローバルに探究・創造し（知）、世界へ羽ばたいていく生徒たちの姿がはっきりと目に浮かびます。	○
24	信州なかの星総合学園	しんしゅうなかのほしそうごうがくえん	信州中野と「中の星」をかけて、生徒一人ひとりを正しい道へ導き、輝く星のような学校になってほしいという願いを込めています。	○
25	信州中野雅	しんしゅうなかのみやび	中野市にある学校と言う事と雅と言う意味を調べた所、とても良い意味だなぁと思ったから。	○
26	信州中野未来	しんしゅうなかのみらい	地域名「信州中野」と生徒たちが切り拓く「未来」を組み合わせた。これからの若い世代に広く受け入れられるような、新しい風やスマートさをイメージした。	○
27	信州中野みらい総合学園	しんしゅうなかのみらいそうごうがくえん	地元名を残すことで育った郷土を愛しつつ、地元のみならず日本の未来を考え背負う人材を育成したい。志願者向けに総合学科であることを明確にしたい。	○
28	心晴	しんせい	みんなの心が晴れるような学校生活を送れるように	○
29	しんなか未来	しんなかみらい	“信州中野の地域のまんなか＝信州中野＋真ん中＝しんなか”で、時間を過ごしていく中で、地域の人々とのつながりに育てられながら育ち、未来へ羽ばたくでもよし、“しんなか”という育ってきた場所で輝くでもよし、そんなひとりひとりの自分の望む未来を想いを描きやすいキャンバスのようなキャンパスになったらいいな。	○
30	中野創岳	そうがく	命名理由：「創岳」には、統合を機に新たな学校の歴史を創り、地域とともに未来を切り拓いていくという願いを込めました。「創」は、新しい価値を創造し、自ら未来を切り拓く力を、「岳」は、北信五岳をはじめとする地域の雄大な自然と、高い志を持ってたくましく成長してほしいという思いを表しています。また、親しみを込めて「そうがく」と呼ばれる学校となり、生徒や地域に長く愛される学校を目指すという願いも込められています。	○
31	総合学館中野	そうごうがっかんなかの	いろんな分野で学べる学校	○
32	奏明	そうめい	多彩な系列（学びの選択肢）を持つ総合学科において、生徒一人ひとりの個性が重なり合ってハーモニーを奏で（奏）、明るい未来を照らす（明）イメージ。「中野市＝音楽の街」という地域特性ともリンクし、現代的で受験生（中学生）にも親しみやすい爽やかな響きから付けました。	○
33	蒼嶺	そうりょう	北信の山々と若者の未来を象徴	○
34	ソソラ	そそら	ソソラホールの横にあることや、少し変わった名前がいいなと思ったことと、爽やかな響きが 素敵な青春を送れそうでいいなと思った。/ソソラホールのそばだから	○
35	高井富士	たかいふじ	郷土富士のひとつである、高社山を学校名にしたいと思ったから。	○
36	高梨	たかなし	中野市のお城を強調したい	○
37	高社	たかやしろ	「高社」は、この地域を象徴する高社山に由来する名称であり、古くから人々の暮らしや文化を見守り、地域の誇りとして親しまれてきました。地域に根差した名前であると同時に、世代を超えて受け継がれてきた歴史と愛着を感じられる名称です。また、「高」は高い志や向上心、「社」は人々が集い、支え合い、学び合う場を連想させます。中野西高校が培ってきた自主性や地域とのつながり、中野立志館高校が大切にしてきた「志を立てる」精神を受け継ぎ、新しい総合学科高校が、地域とともに未来を切り拓く人材を育てる学校となる願いを表す校名としてふさわしいと考えます。流行に左右されない落ち着きと品格があり、卒業生や地域の皆さんが長く誇りを持って呼び続けられる学校名だと考えます。	○
38	長春花	ちょうしゅんか	薔薇が有名で薔薇の別名が長春花なのでその名前にした	○
39	中野青葉	なかのあおば	まず爽やかさな響き、そして「あお」は若さ、未熟さの例えとしてあり、更に「青葉」は大自然の生命力、まさに中野市の自然に値すると共に、未熟な果実のように経験が浅い学生がこの高校に入り、自然の中でたくさんの経験を積み人や社会に貢献できるような人間力を培い羽ばたいてほしいと思いこの名前にしました。	○
40	中野礎	なかのいしずえ	子供の未来の土台を作る場所を作るため	○
41	中野桜里	なかのおうり	私は中野高校卒なので桜が思い浮かんだ。桜の枝が空に向かって伸び、根が大地にしっかり張っている。美しく花を咲かせてほしい。中野はあなたのふる里です。中野の地でともに生きてゆきましょう。中野を離れることがあってもあなたの心の中には、中野があります。	○

整理番号	校名案	校名案の読み仮名	校名案の理由	投票対象
42	中野恩学	なかのおんがく	中野市は高野辰之、中山晋平、久石譲など著名な音楽家を世に出している街であるから。また音楽の当て字に恩と学を選んだのは、勉学に励むことができる環境への感謝、切磋琢磨することができる学友への感謝、先生や親など自分を支えてくれる人への感謝の念を抱き、学校生活を送ってほしいから。	○
43	中野開成	なかのかいせい	自然豊かな中野市でお互いを認めて合い、人知を開発し、事業を成し遂げる能力を育む人材育成を目指します。	○
44	中野希輝	なかのきき	中野市の高校であるとすぐにわかるように「中野」は絶対に入れたかったです。 希望ある輝かしい未来を願ってつけました。	○
45	中野輝翔	なかのきしょう	立志館と中野西の学校祭の名前から一文字づつとりました。文字の配列で立志館の輝を先にしたのは、立志館の場所でこれからも続くので先に持ってきました。	○
46	中野輝志	なかのこうし	新校舎として輝き、子供達の未来を輝かせ志高く学べる高校だから	○
47	中野興譲館	なかのこうじょうかん	「中野興譲館高等学校」の校名には、中野の地に根ざしながら、学問を興し、互いを尊重し支え合う人間性豊かな人材を育成するという願いを込めた。「興」は学びや地域の発展を興すことを、「譲」は他者を思いやり協働する心を表す。また「館」は学びの場を意味する。再編により開校する新たな学校として、これまでの伝統を受け継ぎながら、新しい時代を切り拓く力と豊かな人間性を育む学び舎を目指す。	○
48	中野昂星	なかのこうせい	立志館、中野西が合一し、それぞれの様々な「星」を目指す人材を育成する場を目指す意味から	○
49	中野彩学	なかのさいがく	「彩」には、一人ひとりの個性や多様な学び、さまざまな進路を表す意味を込めました。総合学科の特色である幅広い学びを通して、生徒それぞれが自分らしい未来を描き、彩り豊かな人生を歩んでほしいという願いを込めました。	○
50	中野彩志	なかのさいし	さまざまな生徒が通い、際限なく彩り豊かな高校生活、そして彩り豊かな進路に進んでほしいという願い。	○
51	中野彩美館	なかのさいびかん	新しい学校紹介の「多彩な学び」の分に惹かれたのと、美しい新校舎や山並みと共に学校生活を送れる事により、明るい未来を作って欲しいから。	○
52	中野彩豊	なかのさいほう	新校の紹介文のところに多彩な学びと出会いとあり高校生活を彩る、という意味と多彩の「彩」で彩。豊かな高校生活を送ってほしいという願いを込めて「豊」。以上の2文字をとって彩豊高校です。	○
53	中野彩望	なかのさいみ	希望進路を描き、多彩な出会いがあるという、新校のイメージから。	○
54	中野桜丘	なかのさくらがおか	「桜」は中野市の豊かな自然や、人との出会い・成長・新たな門出を象徴し、「丘」は未来へ向かって一歩ずつ高みを目指す姿を表しています。地域に根ざしながら、一人ひとりが夢や目標に向かって大きく花を咲かせる学校になってほしいという願いを込めて『中野桜丘高校』としました。	○
55	中野志岳	なかのしがく	山々に囲まれた地域特性を感じさせ、学びも高みを目指す意味を込めてます。	○
56	中野志翔	なかのししょう	立志館の“志”、中野西の“翔”という、それぞれの高校の理念を表すキーワードを1字ずつ取り、両校の伝統を継承しつつ生徒の成長や挑戦を連想させる、前向きな印象の校名とした。/現在の立志館と西高の連想させる校名にしたいと思い、小学校5年生の娘と一緒に考えました。まず、中野市唯一の高校になるので必ず「中野」の地域名は必ず入れたいと思いました。「志」は立志館から引き継いだ字です。この学校で学ぶ高校生に高い「志」を持って学んでもらいたい。また、強い「志」を持って生きてほしい。その気持ちを込めて「志」を選びました。「翔」は中野西高校の学園祭は「翔舞祭」です。「翔」は西高から引き継いだ字です。高く飛ぶという意味を持つ「翔」は高い目標に向かって突き進む意味を連想させます。この学校で学ぶ高校生に高い目標を持って高く「翔」（とんで）欲しいという意味を込めて「翔」を選びました。この「志」と「翔」の二文字は両校にとってとても馴染みのある特別な字だと思います。その二文字をあわせて「中野志翔高校」という校名にしました。中野志翔高校という名は両校が統合された後も、両校を連想させる校名です。等	○
57	中野志翔学館	なかのししょうがくかん	（志）前校名 立志館から志を、新設にあたり志は必須、クラーク博士（少年よ大志を抱け！） （翔）中野西高校伝統ある文化祭「翔舞祭」より翔は世界に活躍するよう、大谷翔平⇒現在を代表する（学）古来より学問は必須（福沢諭吉公）（館）中野の地 高梨館として史跡あり、今後幾末も続くように、学園とするよりも重きを「学館」とする‼	○
58	中野志峰	なかのしほう	「志」と山の頂（峰）を組み合わせ、夢に挑む姿勢を表現しました。	○
59	中野鷲志	なかのしゅうし	中野西と立志館の校歌を聞きましたが、中西はイヌワシがテーマで立志館は志がテーマに感じましたので、この名前を考えました。自分の子が立志館でお世話になっておりますが、今小学五年の子供もおります。その子が高校生になる頃に新高発足となるかと思います。この子達が自分の志へ向かってイヌワシのように大きな翼で羽ばたけるためのサポートとなれる学校であって欲しいです。	○
60	中野翔輝	なかのしょうき	中野で学ぶことを選んでくれた生徒たち一人一人が主役となり、自らの可能性を広げて未来へ羽ばたき、それぞれの個性を輝かせる学校。立志舘高校・中野西高校、それぞれの学校祭である「志輝祭」「翔舞祭」から一時づつ引用しました。卒業生たちも母校の思い出を心に残し、高校生たちの学びや活躍を応援できる地域でありたいという意味も込めて。	○

整理番号	校名案	校名案の読み仮名	校名案の理由	投票対象
61	中野翔志	なかのしょうし	立志館が大事にしている「志」と中西が大事にしている「翔」（イヌワシの歌が象徴する「とべ」）から一字ずつ。それぞれの文化祭の名前、志輝祭と翔舞祭の頭の一文字でもある。/中野西高校の文化祭「翔舞祭」の「翔」と、中野立志館高校の校名にある「志」を組み合わせました。「翔志」には、「高い志を持ち、自由な発想で未来へ羽ばたき、自らの力で新しい道を切り開く人に成長してほしい」という願いを込めています。また、総合学科では、生徒一人ひとりが自分の興味や進路に応じて学びをデザインしていきます。その学びを通して大きく飛躍し、それぞれの志を実現してほしいという思いにもつながります。これまで中野市内の高校が築いてきた歴史や伝統を受け継ぎながら、新たな歴史を刻み、地域とともに未来へ羽ばたく学校になってほしいという願いを込めました。	○
62	中野翔志館	なかのしょうしかん	中野西高校文化祭「翔舞祭」の「翔」。中野立志館高校、および文化祭「志輝祭」の「志」。中野高校、中野実業高校からの中野の地に立つ高校の伝統を踏まえ、未来に向かって天を翔るような志を持つ若者が集う学び舎（館）をイメージした。	○
63	中野翔志社	なかのしょうししゃ	西高の翔舞祭の翔と、立志館の志、高社山の社を使い、志(こころざし)を高く持ち、未来へ羽ばたく(翔る)社(集まる場所)とであって欲しいと考えた。	○
64	中野翔風	なかのしょうふう	若者が未来に向かって羽ばたけるように	○
65	中野翔嶺	なかのしょうれい	「翔嶺（しょうれい）」には、「大空へ翔ぶ」と「高い峰を目指す」という二つの意味を込めました。「翔」は、中野立志館高等学校が大切にしてきた「志を立て、自ら未来を切り拓く主体性」と、中野西高等学校が培ってきた国際感覚や多様な価値観を尊重し、世界へ羽ばたく挑戦の精神を象徴しています。また、北信州の空を悠然と舞うイヌワシの姿にも重なり、新校で学ぶ生徒一人ひとりが、それぞれの夢や目標に向かって力強く飛翔する姿を表しています。「嶺」は、高社山をはじめとする中野市を囲む美しい山並みを表すとともに、高い理想と志を持ち、仲間と支え合いながら成長していく学びの場を象徴しています。一つの峰を目指すだけではなく、それぞれが自分らしい頂を目指して歩んでいくという、新しい総合学科の教育理念にもつながります。「翔嶺」という校名には、中野西高等学校の国際性・探究心・多様性を尊重する校風と、中野立志館高等学校の「志」を礎とする伝統を受け継ぎながら、新校で新たな歴史を築いていくという願いを込めました。地域に根ざし、世界へ羽ばたく人材を育む学校として、生徒一人ひとりが高い志を抱き、自らの可能性を大きく広げていく未来を表現した校名です。	○
66	中野志稜	なかのしりょう	中野立志館高校の1期生として、開校以来大切にされてきた「志」の精神を新校にも受け継いでほしいと考えました。「志」にはその思いを込め、「稜」には山の稜線のように高みを目指して伸びていく姿と、長野の自然の中で学ぶ学校のイメージを重ねました。 また、「中野」を冠することで所在地が分かりやすく、地域に根ざした学校であることも伝わります。新しい校名の中に伝統と将来への願いを込められる名称として、ふさわしいと考えます。	○
67	中野信岳	なかのしんがく	信州の信と山岳(北信五岳)の岳。信州中野の雄大な山々のようにのびのび大きく自由に学習に励んで欲しいという思いから。	○
68	中野新鷲	なかのしんしゅう	新しい世界へ鷲のように力強く羽ばたいていけるように	○
69	中野信州彩成	なかのしんしゅうさいせい	新しい総合学科の高校が掲げる「多彩な学び」と「一人ひとりの未来を切り拓く」というコンセプトから着想しました。生徒たちがそれぞれの個性や可能性を「彩（いろど）」り、自らの進路や豊かな人間性を「成（な）」していく学校になってほしいという願いを込めています。伝統ある「中野」と「信州」の地名に、未来への希望を込めた「彩成」を組み合わせることで、地域に根ざしながらも新時代を担う若者を育てる学校にふさわしい名前だと考え提案いたします。	○
70	中野晋成	なかのしんせい	この土地の有名人中山晋平の「晋」からとりました。新校で学び、力強く前進する力を育んでほしいから。	○
71	中野新明	なかのしんめい	これから出来る新たな高校の明るい未来と高校生の無限の可能性を願って付けさせてもらいました。	○
72	中野翠嶺	なかのすいれい	中野市の豊かな自然と高社山の佇まいを「翠」と「嶺」の字に写しました。さらに「翠」には、みずみずしい新緑や美しく羽ばたく鳥、そして宝石という意味があり、生徒たちが若々しいエネルギーと個性、無限の可能性を秘めた原石として己を美しく磨き、高い頂である「嶺」から広い社会、世界へと羽ばたいていく学校になってほしいという願いから、新校に最もふさわしい名前だと考えたためです。	○
73	中野晴華	なかのせいか	晴れた高校生活という意味と多様なという部分で多様といえばいろんな色。色といえば華、中野市といえばバラ公園の二つから華という感じで晴華です。漢字は違いますが一人一人個性を持って成果を発揮してほしいという意味です。明るい漢字を選びました。	○
74	中野青遥	なかのせいよう	中野、中野西、中野立志館各校の校歌に「遥か」「はるけさ」という語が入っており、この三校の伝統を受け継ぎ、青春を謳歌する学び舎になってほしいため。別名「あおはる」高校。	○
75	中野清流	なかのせいりゅう	千曲川をイメージしました	○
76	中野颯英	なかのそうえい	颯の意味（清々しさ、爽やかさ、凛々しさ、風が立つ音）、英の意味（美しい花、優れている、国際的なイメージ）、北信五岳を望む田園を渡る風とバラやシャクヤクを代表とする花々が美しい中野市の風景に、未来の生徒像を重ねました。発音が柔らかく、ローマ字表記（NAKANO SOEI）がスッキリしていると思いました。	○

整理番号	校名案	校名案の読み仮名	校名案の理由	投票対象
77	中野創輝	なかのそうき	地域の将来を担う生徒達が、学業や部活動に励み、光り輝く様子をイメージしました	○
78	中野創空	なかのそうくう	『創空』には、「創造」と「空」という二つの言葉を組み合わせ、「自ら未来を創り、可能性が無限に広がる空へ羽ばたく人を育てる学校」という願いを込めました。総合学科での多様な学びを通して、生徒一人ひとりが大きな夢や希望を抱き、自ら考え、挑戦し、自らの可能性を伸ばして、自分らしい進路を切り拓き、新しい価値を地域や社会に生み出す人材へと成長してほしいという思いを表しています。また、『創空』は「ソソラ」と読むこともでき、地域に根差しつつある愛称とも合致しており、自然豊かな中野の空の下で、地域とともに学び、地域に愛される学校になってほしいと願います。	○
79	中野総合	なかのそうごう	私は中野市民ではなく、中野市に最も近い地域に住み、日常的に千曲川を渡って中野市を訪れています。身近な存在でありながら、その歴史に触れる機会はほとんどありませんでした。しかし、この校名公募をきっかけに「せっかくなら中野市の歴史を知りたい」と思い、調べるようになりました。調べていく中で知ったのは、約2万年前の旧石器時代から人々が暮らし、北信濃の中心地として発展し、江戸時代には中野陣屋が置かれ、明治初期には中野県の県庁所在地ともなったという、長い歴史の積み重ねでした。また、豪雪という厳しい自然環境の中で「日本一のきのこ王国」へと発展させた先人たちの挑戦の精神や、中山晋平・高野辰之に代表される豊かな音楽文化にも深く心を動かされました。さらに、春の桜や一本木公園のバラ、夏の豊かな果実、秋の高社山の紅葉、冬の雪景色と千曲川が織りなす風景など、美しい四季の背景には、先人たちの営みと歴史の積み重ねがあることを知りました。「中野」という二文字こそ、この地域の歴史・文化・挑戦の歩みを象徴する名であると感じました。その誇りある地名を校名の中心に据え、「総合」には、多様な学びの中から生徒一人ひとりが自ら未来を切り拓いてほしいという願いを込めました。地域の歴史と誇りを受け継ぎ、多様な学びで未来を切り拓く総合学科の拠点として「長野県中野総合高等学校」を提案します。	○
80	中野総合学院	なかのそうごうがくいん	2つの高校を1つにするから、総合と学院を入れました	○
81	中野総合学園	なかのそうごうがくえん	総合学科を主体とした学校であるため。	○
82	中野総合学館	なかのそうごうがっかん	覚えやすそう	○
83	中野創志	なかのそうし	「創」は未来を創る「志」は夢に向かって挑戦することを意味します。生徒一人ひとりが夢や希望を持ち、未来を切り開いていける、そんな学校になってもらいたい思いから、この校名にしました。	○
84	中野蒼志園	なかのそうしえん	「蒼」は中野西のスクールカラーと青空や新緑を表します。「志」は中野立志館の理念を継承するとともに、中野市出身の高野辰之の唱歌「故郷」の歌詞の「志を果たして」から来ています。 「園」は新高校のコンセプトでもある、誰もが集える場所やバラ公園を表しています。モダンでスタイリッシュな響きとイメージが若者の心に響き、かつ他にはない、中野にしか表せない最高の名称。故郷である中野のことを思い、考案しました。	○
85	中野総未来彩	なかのそうみらいさい	地域全体で未来を彩る学校になれば嬉しい	○
86	中野奏明	なかのそうめい	多彩な系列（学びの選択肢）を持つ総合学科において、生徒一人ひとりの個性が重なり合ってハーモニーを奏で、明るい未来を照らすイメージ。「中野市＝音楽の街」という地域特性ともリンクし、現代的で受験生（中学生）にも親しみやすい爽やかな響きから考えました。	○
87	中野創空	なかのそそら	音感のベースとなる「そそら」は、中野市出身の作曲家・中山晋平の代表曲『兎のダンス』に由来し、新市民会館「ソソラホール」など地域で広く愛されている響きです。この郷土の誇りと親しみやすさを校名に反映させました。「創空（そそら）」には、中野立志館高校が培ってきた「主体的に学び、自らの未来を切り拓き『創』り出す総合学科の文化」と、中野西高校が育んできた「国際理解や環境教育（ESD）を通じて、世界へ、そして『空』へと翔（はばた）く文化」の融合を意図しています。地域に深く根ざしながら、生徒たちが豊かな創造力（創）を胸に、無限の可能性が広がる未来の空へと高く翔け上がってほしいという願いを込めて提案いたします。	○
88	中野高社	なかのたかやしろ	地域のシンボル高社山にちなみました。	○
89	中野拓志	なかのたくし	「拓」は、生徒一人ひとりが多様な学びを通じて自らの可能性を広げ、自分自身の道を切り拓いていく姿を表しています。また、中野西高等学校の象徴であるイヌワシが大空を舞い、高みへ力強く羽ばたく姿に重ね、目標に向かって挑戦し、新たな可能性を拓いていく生徒の姿を表現しています。「志」は、中野立志館高等学校が大切にしてきた「志を立て、自ら学ぶ」精神を受け継ぎ、明確な目標を持って主体的に学び、自らの未来を切り拓いていく姿を表しています。両校がこれまで築いてきた歴史や伝統を受け継ぎながら、総合学科の特色である幅広い学びを通じて、生徒一人ひとりが自らの可能性を拓き、それぞれの夢や目標に向かって成長し、社会で活躍する人材となることを願い、この名称を提案します。	○

整理番号	校名案	校名案の読み仮名	校名案の理由	投票対象
90	中野拓創	なかのたくそう	中野立志館高等学校が大切にしてきた「志を立て、自らの道を切り拓く」という精神から「拓」を、中野西高等学校の校訓「創造・探究・友愛」から「創」を取り、「拓創」としました。「拓創」には、生徒一人ひとりが多彩な科目や地域での学びを通して自分の進路を切り拓き、さまざまな人と協働しながら新しい価値や未来を創ってほしいという願いを込めています。両校の歴史と伝統を受け継ぎつつ、新しい総合学科高校として未来へ進む姿を表すとともに、「拓創」という短く親しみやすい呼び方で、生徒や地域の方々に長く愛される校名になると考えました。	○
91	中野中央総合学園	なかのちゅうおうそうごうがくえん	中野市にあるので、中野を入れたい。中野市の中央部ではないと思うが、位置的に入れたい。総合学科なので、総合を入れたい。学園は、イメージが高級な感じ。	○
92	中野長元坊	なかのちょうげんぼう	中野市の市の鳥として指定されているチョウゲンボウ、岸壁に生息し飛躍するその姿は若人が将来に向けて飛躍を期待する姿に近しいとも感じ、そうであってほしい願望もある。若者たちが何かを求め首都圏に移ろうとする中で地元を守り華を咲かせる印象を学校名で示せると地元愛への一助になるとも思ったのでこの名称を考えた。	○
93	中野澄心	なかのちょうしん	中野は水が豊かで、まちの真ん中を川が流れていたという話をよく伺う。このエリアの産業が農業も観光も産業も「水」によって支えられている。夜、静かな町を歩いていると暗渠を流れる水の音が聞こえる。そういったことを踏まえ、水が感じられる文字を入れたかった。また、新しい高校には進学を目指す生徒から悩みを抱えた生徒まで様々な生徒が集うことが想定される中で、その生徒たちがどんな高校生活をおくりどんな大人になってほしいかを考えたときに、いつまでも純粋な澄んだ心を失わないままでいてほしいと思った。	○
94	中野月の兎	なかのつきのうさぎ	中野市といえば「つきのうさぎ」であることからつけました。うさぎのように跳ねる！何度も跳ねる！みらいに向かって何度も挑戦する総合学科の生徒の姿を映し出している。	○
95	中野天誠	なかのてんせい	社会で必要な知識や教養･仕事の技術だけではなく、天のように広く優しく愛情深く、人に対して誠を尽くす心を育てて欲しい。	○
96	中野天星	なかのてんせい	「大空に輝く星のように、生徒一人ひとりがそれぞれの個性や才能を輝かせ、無限の可能性を広げてほしい」という想いを込めました。地域の特産品であるシャインマスカットの Shineのイメージとも重なり、生徒達が自らの未来を切り拓き、地域や世界で輝く存在となることを願っています。	○
97	中野ニ志	なかのにっし	二つの学校の志が共存し学び合えるように	○
98	中野日志館	なかのにっしかん	なんとなく	○
99	中野白稜	なかのはくりょう	美しい山々や豊かな自然に囲まれた中野市で、子供達がそれぞれの個性を活かしながら体験や学びを通して成長していける場所になってほしいという思いで考えました。	○
100	中野飛越	なかのひえつ	郷土の2校の名前からの中野を残しつつ、総合学科卒の私が学生に知ってほしいかつ特徴的な総合学科も残し、分かりやすくキャッチーにという理由から、上記の名前を提案いたします。私は長野県内で総合学科の先駆けとなった塩尻志学館高校9期生です。信州大学を卒業し、県内に本社を置く一部上場企業から、海外赴任しコロナ禍において海外工場立ち上げの一旦をにないました。現在も海外在住で子育てをしており、いずれ嫁ぎ先であるお布施に戻る予定です。そんな実績を積んで来れたのも総合学科で学べたからこそだと思っています。総合学科の特色は学びたい内容を学べることも勿論ですが、キャリアプランニングを学べることも重要な構成要素の一つでした。当時は色んな方の話を聞いてメモして、新しいことを知ることこそ楽しいなれど、キャリアプランニング、キャリアデザインは何故あるのか？その理由はわかっていませんでした。しかし、社会に出て問題にぶち当たるたび、キャリアについて初期段階から考えて組み立てることの重要性、出産を経ても尚、次はどうしようと前向きに組み立てなおせるスキルは、終身雇用からフレキシブルな働き方に移行してきた現代において重要であると思います。上記に関わらず、素晴らしい名前に決まり、高校生の皆様が楽しく夢を持って学べますようお祈り申し上げます。	○
101	中野飛翔	なかのひしょう	地名と校歌と今後の高校の発展を願って/チョウゲンボウが有名な中野市。未来ある若者に将来まっすぐ、高く羽ばたいていけるように飛翔にしました。	○
102	中野ふるさと	なかのふるさと	地域への親しみを校名からも感じてほしいことと、学校の向かいにあるのが中山晋平氏の童謡「うさぎのダンス」にちなんだソソラホールであるため、同じく中野市出身の作曲家である高野辰之氏の愛唱歌「故郷」を選びました。	○
103	中野望岳館	なかのぼうがくかん	市を流れる広大な千曲川や、果樹園などが広がる扇状地、更には幅広い学び（総合学科）を実現する学校の特色を、「展望」の「望」の１字に込めました。加えて、周囲を高社富士を始めとする壮大な山々に囲まれている特徴を「岳」の１字で表しています。そしてこの学校の前進となった「中野立志舘」の校名も生かしつつ、「中野望岳館（なかのぼうがくかん）」という名前を考えました。	○
104	中野三好	なかのみよし	中野市の三好町にあるから。生徒には三年間好きに過ごしてほしいから。	○
105	中野未来	なかのみらい	これからの未来のために幅広い分野で未来を担う若い子達の学びや成長を育む学校になってほしい	○
106	中野みらい	なかのみらい	様々な人々が協働して生きていく未来。そんな未来に向かって中野から総合学科の生徒が飛躍する学校を目指す。ひらがなの「みらい）とした理由はインクルージョンの世の中の一人として生きることや、柔らか味がある雰囲気を出すため。	○
107	なかのみらい	なかのみらい	中野市の高校がついに1つなってしまうので中野市のみらいを背負ってほしいから、さらに親しみも持ちやすいようにあえてひらがなにしました	○

整理番号	校名案	校名案の読み仮名	校名案の理由	投票対象
108	中野未来館	なかのみらいかん	総合科目で未来に繋がるから	○
109	中野未来創	なかのみらいそう	未来を創る、自分の進路を切り拓くという総合学科の理念を一言で表現できるのではと思う。進学・就職・地域連携など、多様な学びをイメージできるのと現代の流れにフィットする。	○
110	中野ミライ総合	なかのみらいそうごう	中野の未来を託し、総合学科という特色を活かした学校にしたいから	○
111	中野遥志館	なかのようしかん	中野立志舘、中野西、中野各高校の校歌に「遥か」「はるけさ」という語が入っており、各校の伝統を受け継ぎ、遥かなる大きな夢、志を持ってはばたく学舎になってほしいため。	○
112	中野夜間瀬	なかのよませ	夜間瀬川から	○
113	中野律誠	なかのりっせい	校名の「律誠（りっせい）」は、立志館高校の立を律に改め、自らを律する心を表しました。また、中野西高校の西の読みをせいに置き換え誠という字を使い、両校の歴史を受け継ぐ思いを込めています。	○
114	中野和響館	なかのわきょうかん	「中野」は中野市唯一の高校として地域を代表する学校であり、前身の「中野西高等学校」と「中野立志館高等学校」の教育理念を受け継ぐ意味も込められています。「和」には、人権尊重都市である中野市が大切にしてきた精神、平和、多様性、互いを認め合い支え合う調和への願いを込めました。また、音楽のまち中野を象徴する「和音」の意味も重ねています。「響」には、高野辰之や中山晋平が育んだ音楽文化を未来へ受け継ぐとともに、生徒一人ひとりの学びや思いが、地域文化への貢献が中野市から全国へ、そして世界へ響き広がっていくことへの願いを込めました。「館」は、総合学科と普通科と幅広く学べる舎としての品格を表すとともに、統合する中野立志館高校の歴史を尊重し、その精神を未来へ受け継ぐ意味があります。「中野和響館高等学校」が、人権を尊重し、多様な人々と協働しながら、地域に根ざし、世界へ羽ばたく人材を育む学校となることを願い、この校名を提案いたします。	○
115	中町総合	なかまちそうごう	中町にある総合学科の高校だから	○
116	乃菜花野	のなかの	長野県の"中野"の高等学校→長野県乃菜花野高等学校と表記し、中野であることと、自然豊かな環境をイメージしました。	○
117	飛翔	ひしょう	未来に向かって羽ばたく	○
118	ふるさと総合	ふるさとそうごう	地元ふるさとに貢献したい若者が集う未来のある学校にしたい。	○
119	ふるさと中野	ふるさとなかの	合併統合により母校喪失の感が否めない卒業生にとって、新校が母校（ふるさと）で戻れる場所であり、これから始まる現役の生徒にとっては新校が自分を成長させる学校（ふるさと）であり、中野にとっては新校が地域（ふるさと）をけん引し得る人材育成の場所であることから。	○
120	ふるさとなかの	ふるさとなかの	ふるさとの歌に縁のある中野市だから、親しみやすく、覚えて頂きやすいため	○
121	峰星	ほうせい	一人ひとりがそこで輝けるような想いを込めて	○
122	北翔	ほくしょう	北信地方、北信濃から未来へ、世界へ翔いてほしいとう意味を込めました。新学校には、地域とともに学び、地域課題の解決に挑戦し、協働を通して自己有用感を育み、未来を切り拓＜人材が育つ場所であってほしいと思っています。「北」は北信地方、北信濃を表しています。ここ北信地方には、長野県を代表する豊かな自然と文化があります。その自分たちが育った地域を愛し、感謝の気持ちとともに、地域発展の活動や地域とともに成長し、地域から愛される存在でい続けてほしいと思っています。「翔」は、その糧を持ち、挑戦を恐れず新たな価値を創造し、一人ひとりが、世界へ、未来へ羽ばたいていく姿を表しています。高齢化や、気候変動が続けていく中、地域とともに歩んでいくことがより必要だと思います。地域と歩み、共に未来を創り、愛され続ける学校になることを願い、この名前を提案いたします。	○
123	北信	ほくしん	北信の方の学校が合併するから	○
124	北信輝学館	ほくしんこうがくかん	北信地域を代表する高校として、生徒一人ひとりが夢や目標に向かって輝き、地域とともに成長してほしいという願いを込めました。「輝」は北信地域の特産品であるシャインマスカットも連想させ、地域への愛着と誇りを表しています。また、「学館」は中野立志館高校の「館」を受け継ぎ、新たな学びの拠点となる学校をイメージしています。	○
125	北信総合	ほくしんそうごう	北信を代表する総合学科の高校だから	○
126	北信未来	ほくしんみらい	北信にある高校だし、未来へ向かって進んでいる高校だと思ったから	○
127	舞輝	まき	西高の文化祭の翔舞祭と立志館の志輝祭から一文字ずつ取って、楽しく舞って輝く高校生活を送ってほしいという願いを込めてつけました。	○
128	三好	みよし	松本の高校みたいに土地名をつけるのがかっこいいと思ったから。長野みたいに方角だとつまらない。	○
129	明輝	めいき	明日を明るく輝かせる場所	○

整理番号	校名案	校名案の読み仮名	校名案の理由	投票対象
130	結総合学科	ゆい そうごうがっか	新しい高校のイメージを思い描いたときにまず浮かんだ漢字が「結」でした。新校のワークショップに参加させていただいた時、新しい学校と地域との結びつきをとても強く感じました。また、設計チームの皆さんが地域のお店を紹介してくださったり、祭りに参加いただいたりする姿にも「結」という文字が重なりました。話はそれますが、風呂敷はそのままでは1枚の四角い布です。でも角同士を結びあえばバッグになったり、小物入れなどのインテリアにもなります。また、風呂敷を何枚も結びあえば大きな一枚の布にもなります。新校で学ぶ皆さんには、「人」「地域」「希望」「志」「未来」等、たくさんの交わりと結びつきによる新しい何かをたくさん創造していただけたらうれしいです。	○
131	結翔	ゆいしょう	「結」には、人・地域・学び・未来を結び、多様な人々と協働しながら成長してほしいという願いを込めました。「翔」には、変化の大きい社会の中でも自ら考え挑戦し、地域や世界で活躍できる人材として大きく羽ばたいてほしいという願いを込めています。	○
132	結心	ゆいしん	中野立志館と中野西、ふたつの学校の人と人が結ばれてひとつの心になると願いを込めて どちらの高校も子供たちの母校です。	○
133	立翔	りっしょう	双方の学校にちなんだ名前を残しつつも 一人一人が立派に翔いて行って欲しいと言う由来から。	○

■中野総合学科新校 校名一次投票対象外案一覧（50音順）

整理番号	校名案	校名案の読み仮名	校名案の理由	除外理由
1	志岳館	しがくかん	北信五岳の様に志高く	1-ア
2	実業	じつぎょう	以前の高校名に戻したい	1-イ
3	翔洋	しょうよう	広い世界・未来という大海原へ羽ばたいていく（翔ける）生徒の姿を表現	1-ア
4	信州	しんしゅう	信州と言う言葉を使いたかった	1-ア
5	専門	せんもん	専門的なことを学べるから	2-ア
6	中野	なかの	地域の高校が１つならば、地域名の高校がわかりやすい/中野市には一校しかないので、中野市の高校と言ったら中野高校！って分かりやすいと思います。等	1-イ
7	中野志学館	なかのしがくかん	学問も技術も真面目に取り組める学校でありますようにという意味/志持って学んでほしい	1-ア
8	中野志西総合	なかのしせいそうごう	立志と中野西を合わせた名前にしました。 中野西の存在も心に残しながら志を灯し 3年間の高校生活を送って欲しいという思いを込めました。	3-イ
9	中野実業	なかのじつぎょう	原点回帰/母校の学校名を復活させたい。	1-イ
10	中野市立	なかのしりつ	中野に1校だけになってしまうし、分かりやすい名前が良いと思って。	2-イ
11	中野星翔	なかのせいしょう	中野市で唯一の高校になるので、生徒ひとりひとり輝いてほしいのと中野立志館が志輝祭、中野西が翔舞祭というので両校のイメージの漢字一文字ずつつけました。	1-ア
12	中野清峰	なかのせいほう	地元を流れる千曲川・夜間瀬川の「清らかな水脈」と、雄大にそびえる北信五岳の「美しい峰々」は、この地域で育つ高校生たちの象徴です。清らかな心と高い誇りを持ち、自らの限界を超えて高い峰へと挑み続ける人材を育成してほしいという想いを込めました。「中野市の自然と共に歩み、未来へ高く羽ばたく学校」として地域から愛され続けることを願っています。	1-ア
13	中野専門	なかのせんもん	中野立志館の2.3年次に専門的な事を学んだり、中野西の英語科が特徴的に事から、誰からも専門的に学べると印象付けてもらえるように。	2-ア
14	中野創生	なかのそうせい	未来を担う若者達の創造力あふれてクリエイティブな発送で自分達の世の中を生み出していって欲しいという願いを込めて。　新しいもの・時代・仕組みなどを臆する事なく生み出していってほしい。	1-ア
15	中野SORA×2	なかのそらそら	ソソラ　ソラソラ　うさぎのダンスのソラソラです。ソソラホールが向かいにあり、新校にはソソラ広場もあります。ローマ字にしたのは頭文字が新校で大事にしたい動詞がSolve Open Respect Actだからです	4その他
16	中野中央	なかのちゅうおう	覚えやすく、長くなく、略称を考えやすく親しんで貰えそうな名前だから。/この名称には、新しい学校を「地域創生の核」と位置づけ、以下の3つの意味における「中央（セントラル）」としての強い決意と期待を込めています。英語表記は「Nakano Central High School」を想定しています。 １．地域創生と学びの「核」：現在地域に２校ある高校が合併し１つだけの高校となる今、この学校は未来の地域社会を牽引する人材育成の最前線となります。生徒たちには「市の中央で学び、自分たちこそが地域の未来を創る」という強い自覚と誇りを持って成長してほしいと願っています。 ２．名実ともの「地理的中央」：新しい学校は、地域の行政の中枢である市役所の隣であり、交通の要衝である信州中野駅からも徒歩圏内という好立地にあります。市の中心部に位置しているという事実は、「中央」を冠する最大の根拠となります。３．地域の人々の「心の拠り所」：アメリカニューヨークの「セントラル・パーク」が都市の中心で多様な人が集うシンボルであるように、新設校もまた地域に開かれた拠点となることを願っています。中心立地を最大限に活かし、世代を超えた活気を生み出し、真の地域創生を実現する中心的存在になってほしいという願いも込められています。学び、立地、地域、これらすべての「中央、中心」として、学校と地域が一体となって未来を創造し、末永く愛されるシンボルになってほしいという強い祈りを込めています。等	1-イ
17	中野reigion	なかのりーじょん	総合学科として中野市はもちろん北信州の地域と協働しながら学び育つ学校でありたいと願うため。	4その他
18	中野立西	なかのりっせい	西が立志に移るので立が先に西も名前を残したいと思い立西としました	3-イ
19	中野総合技術	なかの総合技術	統合により総合学科として発足するため	2-ア
20	西志館	にっしかん	中野西と立志館がくっつくんだもんこれしか無いっしょ	3-イ
21	みすずかる	みすずかる	信濃の詞言葉を引用しました。	3-ア
22	未来創成	みらいそうせい	自分たちで未来を切り拓いていく！新しい学校を創り上げていく！/未来を創り出す人を育てる学校だから 等	1-ア
23	立西	りっせい	「立」には、生徒一人ひとりが「自立」し「志を立てる」という意味（総合学科の学びのイメージ）を重ねています。また、読みの「りっせい」には、新たな時代へ向けて「正しく立つ」「盛んに立ち上がる（立盛）」といった、これからの未来を切り拓く生徒たちへのエールも込められています。	3-イ

中野総合学科新校 スケジュール

2026.10.13 第7版

検討グループ		準備項目	令和7年度（2025年度）												令和8年度（2026年度）												令和9年度（2027年度）												令和10年度（2028年度）												令和11年度（2029年度）												令12	令13
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
		懇話会 合同職員会議 主要行事等	懇			懇				懇					懇				職			懇				懇／職				職		体験入学		職				職				職					職		体験入学		職				職					職				前期選抜		後期選抜 閉校式	第一期生入学 開校式	第二期生入学
A 学校運営検討	1	校名																公募																																																	
	2	校歌																																																												
	3	校旗・校章																																																											
	4	学校目標・基本理念・教育方針																																																										
	5	3つの方針・グランドデザイン																																																										
	6	部活動方針																																																										
	7	閉校・閉科の準備																																																										
B 教務	1	行事検討，新たな学校行事																																																										
	2	入学式・卒業式																																																										
	3	修学旅行・研修旅行																																																										
	4	入学者選抜																																																										
	5	体験入学・学校説明会																																																										
	6	履修・修得・卒業認定・資格単位																																																										
	7	学期制																																																										
	8	系列(選択科目)等																																																										
	9	クラス編成・クラス替え等																																																										
	10	習熟度授業																																																										
	11	日課(時限)																																																										
	12	年間行事予定																																																										
	13	使用教科書																																																										
	14	学校評価																																																										
	15	校務分掌																																																										
	16	内規																																																										
	17	成績処理・学籍管理																																																									
	18	ホームページ開設・更新																																																									
	19	広報・学校案内・Q&A作成																																																									
	20	渉外（PTA・同窓会）																																																									
C 進路・学習指導	1	教育課程																																																									
	2	シラバス・授業評価																																																									
	3	探究的な学び																																																									
	4	地域共学共創コンソーシアムとの連携																																																									
	5	海外交流，海外留学，ESD																																																									
	6	ボランティア・インターンシップ等																																																									
	7	進路指導方針																																																									
	8	学力・学習実態調査																																																									
	9	基礎学力定着																																																									
	10	補習体制																																																									
	11	外部テスト・各種資格等																																																									
	12	進路相談体制																																																									
	13	進路講話・進路ガイダンス																																																									
	14	大学等との連携による学び																																																									
D 校舎・施設	1	新棟施設																																																									
	2	仮設一期・仮設二期・仮設三期																																																									
	3	既存校舎の設備																																																									
	4	中野西高校からの引越																																																									
	5	既存校舎での引越（仮設引越計画）																				引越																																								
	6	現校舎の改築																																																									
	7	校地の整備																																																									
	8	備品の整備																																																									
E 生徒会	1	生徒会組織																																																									
	2	部活動																																																									
	3	文化祭																																																								
	4	生徒会規則・会計																																																								
	5	生徒会行事																																																								
	6	委員会																																																								
	7	校則（学校のきまり），清掃方法																																																								
	8	服装（制服）検討																																																								
	9	生徒手帳																																																								
	10	指導内規																																																								
	11	ハラスメント防止ガイドライン																																																								
	12	免許・アルバイト規定																																																								
	13	交通安全																																																								
	14	特別支援体制																																																								
定時制	1	単位制導入																																																								
	2	教育課程																																																								
	3	仮設への引越・改修後引越																				引越																																							